

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和4年第32週の発生動向

### □ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が17,296例あり、先週(16,153例)の約1.1倍となった。2022年の累積報告数は121,967例となった。1週当たりの報告数としては、先週の16,153例を超え過去最多となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

### □ 全数報告の感染症 (32週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 14 例。4 類感染症：レプトスピラ症 1 例。
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、梅毒 2 例、播種性クリプトコックス症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
		日南	0~4歳		※13例(患者11例、無症状病原体保有者2例) O血清群はいずれもO26(VT1) 患者の主な症状は、水様性下痢、軟便、なおHUS発症例なし	
4類	レプトスピラ症	延岡	70歳代	男	—	発熱、結膜充血、黄疸、蛋白尿
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20歳代	女	EBV	全身倦怠感、嘔吐、発熱、肝機能異常
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	60歳代	男	—	肺炎
	梅毒	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	男	—	真菌血症	

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は196人(定点当たり6.0)で、前週比86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【感染性胃腸炎】

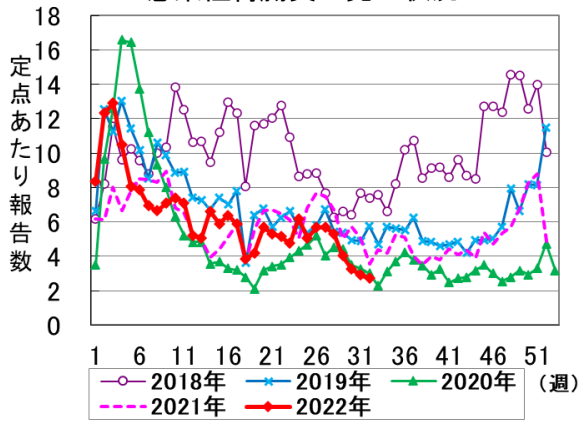
報告数は98人(2.7)で、前週比93%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(5.4)の約0.5倍であった。中央(7.0)、日南(5.7)、小林(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約6割を占めた。

##### 【手足口病】

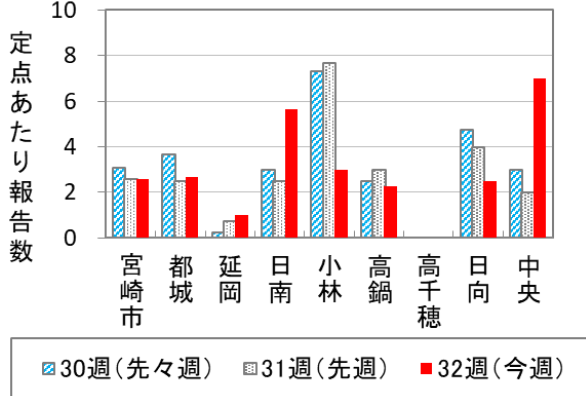
報告数は47人(1.3)で、前週比82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.2)の約0.6倍であった。都城(4.2)、宮崎市(1.3)、高鍋(0.75)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

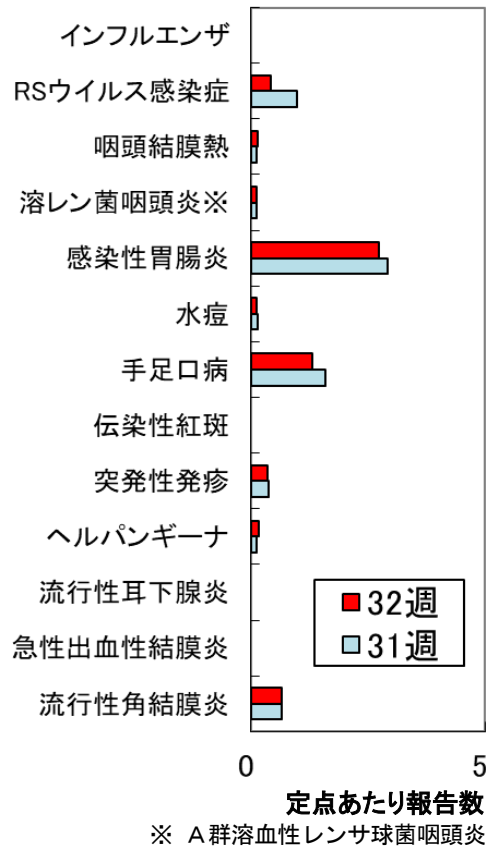
感染性胃腸炎 発生状況



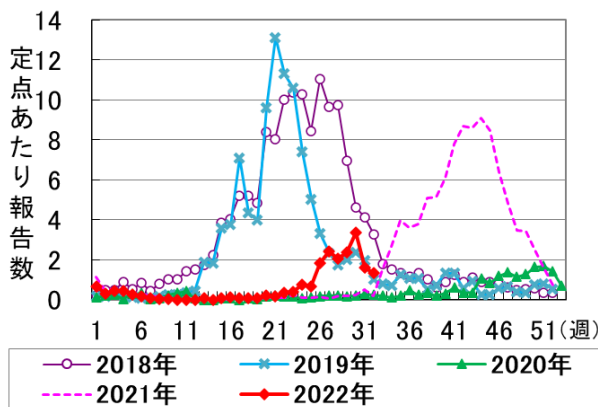
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



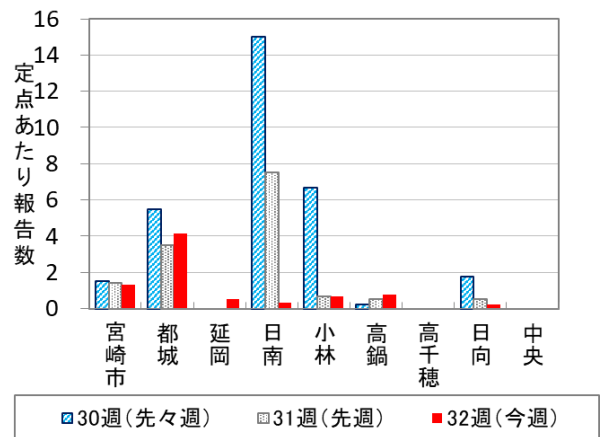
《前週との比較》



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	なし
中央	水痘(1.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*  
・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年8月15日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトパレコウイルス3型	0～4歳	女	2022.06.17	乳児早期発熱、39.9℃、発疹(丘疹、紅斑)	便	2022.08.04

🇯🇵 全国 2022 年第 31 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	178 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	118 例				
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	10 例	ライム病	2 例
	レジオネラ症	48 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	10 例	水痘(入院例)	3 例
	梅毒	164 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	4 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及び水痘であった。

RSウイルス感染症の報告数は7,192人(2.3)で前週比99%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.5)の約1.6倍であった。三重県(8.7)、大阪府(6.0)、奈良県(5.4)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は10,307人(3.3)で前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.2)の約0.8倍であった。新潟県(10.4)、埼玉県(7.2)、千葉県(7.1)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2022年7月>

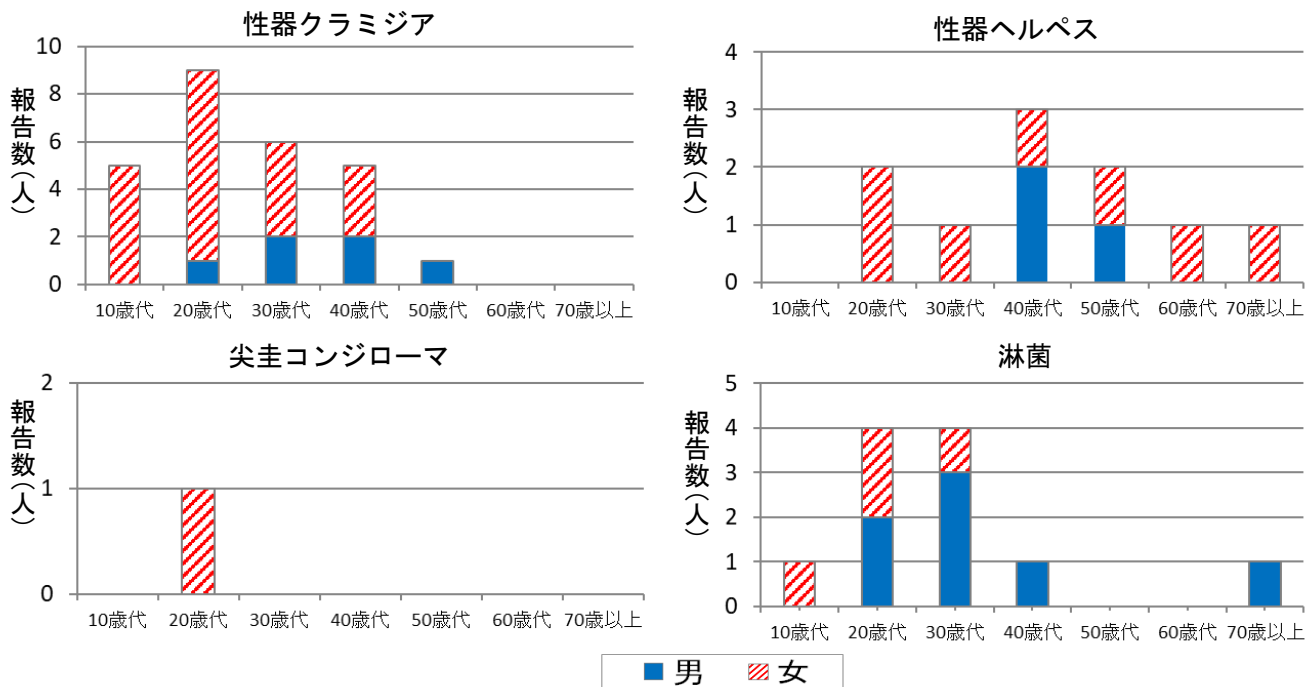
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は48人(3.7)で、前月比166%と増加した。また、昨年7月(2.9)の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の約1.7倍、昨年7月の約1.4倍であった。  
20歳代から30歳代が全体の約6割を占めた。(男性6人・女性20人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.77)で、前月の2.5倍、昨年7月と同率であった。  
(男性3人・女性7人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同率、昨年7月の0.5倍であった。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数11人(0.85)で、前月の約1.2倍、昨年7月の1.6倍であった。  
(男性7人、女性4人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,802人(4.9)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,607人(2.7)で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症765人(0.78)で前月比94%、尖圭コンジローマ518人(0.53)で前月比90%、淋菌感染症912人(0.93)で前月比105%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人(3.4)で、前月比120%と増加した。また、昨年7月(3.4)と同率であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人(3.4)で、前月の1.2倍、昨年7月と同程度であった。70歳以上が全体の8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,230人(2.6)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,158人(2.4)で前月比94%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症60人(0.13)で前月比108%、薬剤耐性緑膿菌感染症12人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第32週(08月08日～08月14日)

疾病名	第31週	第32週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	34	15	10		3		1			1
感染症	定点当り	0.97	0.42	1.00	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00	0.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	4	5	1	2			2			
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数 定点当り	0.11	0.14	0.10	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	102	98	26	16	4	17	9	9	10	7
水痘	報告数 定点当り	5	4	1			1		1		1
手足口病	報告数 定点当り	56	47	13	25	2	1	2	3	1	
伝染性紅斑	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数 定点当り	13	13	4	5		2		1	1	
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	4	6	2	2	2					
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	4	4	3	1						
細菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～32週)

2類感染症	結核	73例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	20例(14)		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	6例(1)
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	46例(2)
	破傷風	4例	百日咳	11例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	121967例(17296)		

( )内は今週届出分、再掲